

新潟県消防大会
ポンプ操法競技会「小型ポンプ操法の部」
長岡北部方面隊 第15分団

2連覇達成！！



平成27年7月26日（日）第66回新潟県消防大会ポンプ操法競技会が、真夏の日差しが照りつける中、阿賀町の新潟県立津川漕艇場で開催されました。

『小型ポンプ操法の部』で長岡北部方面隊第15分団が優勝し、見事“2連覇”を達成しました。

消 防 大 会 結 果



〈 小型ポンプ操法の部 〉 出場 18チーム

順位	出場隊名
1位	長岡市消防団 長岡北部方面隊 第15分団
2位	胎内市消防団
3位	妙高市消防団
4位	新潟市消防団 西方面隊赤塚分団第3班
5位	柏崎市消防団 第7分団
...	...
10位	長岡市消防団 中之島方面隊信条分団

〈 ポンプ車操法の部 〉 出場 9チーム

順位	出場隊名
1位	聖籠町消防団
2位	妙高市消防団
3位	上越市消防団 上越方面隊第1分団
4位	長岡市消防団 長岡川西方面隊第16分団
5位	阿賀町消防団

小

型ポンプ操法の部において、長岡北部方面隊第十五分団が、長岡市

消防団として通算十六回目の優勝の栄冠に輝きました。

中之島方面隊信条分団は、十位と惜しくも入賞はなりませんでした。

「ポンプ車操法の部」においては、長岡川西方面隊第十六分団が、長岡市消防団初の連覇を目指しましたが四位となりました。

来年は、全国消防操法大会が長野県で開催され、新潟県の代表は「ポンプ車操法の部」に出場します。

初開催の長野県で、長岡市消防団の勇姿をみせられることを期待しています。



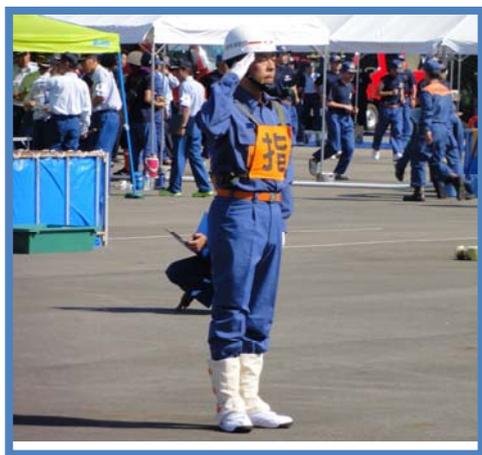
消防大会を終えて 私たちの想い

消防大会に出場した各分団長と指揮者から、ポンプ操法にかけた熱い想いを投稿していただきました。

長岡北部方面隊

第15分団 分団長 石丸 幸男

2連覇の期待が懸った今年、2月より訓練を積み重ねてきました。他の分団も同様だと思いますが、我々第15分団も毎年、出場選手が部の持ち回りのため、昨年の好成績が今年の選手達に重いプレッシャーとなっていたと思います。今年の選手達は言葉には出さないものの、真摯に練習に取り組み、切磋琢磨する気持ちが十二分に伝わってきました。厳しい訓練に耐え、その訓練の積み重ねが今回の結果だと思います。体の痛みは多少あったものの、大きなけがもなく、よく頑張ってくれました。これも一重に、今まで協力していただいたご家族、地域の皆さま、OB会の皆さま、消防団本部、方面隊、各分団、第15分団の皆さん、出張所指導員のご協力のおかげだと思います。これからも、地域の安全はもとより、長岡市消防団の更なる発展の為、分団全員で頑張っていきたいと思えます。2年連続で県大会優勝の分団長を務めさせていただき、大変幸せでした。昨年の1部の選手、今年の2部の選手、副分団長、予防担当部長、そして分団員の皆さん、ありがとうございました。皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。大変ありがとうございました。



長岡北部方面隊

第15分団 指揮者 高梨 之博

私達は、市の競技会ヘシード権で出場するチームとして恥ずかしくない操法を目指し、2月より訓練を開始しました。さまざまなプレッシャーの中、基本動作の反復訓練が好結果につながり、市の競技会で優勝し県大会へ出場することができました。県大会当日は、緊張感に襲われましたが、今まで指導、応援、そしてサポートをしてきてくれた方々の励ましの言葉が頭に浮かび、緊張を自信へと変えてくれました。本番の1本は、今まで訓練してきたことをすべて出し切ることができ、納得の操法をすることができました。最後まで笑顔で操法を出来たことは、とても幸せなことだと思えました。この経験を次の選手達に伝え、3連覇に向け、力をひとつにし、絆をつなげていければと思います。最後に、訓練場所を提供していただいた地域の皆さま、出張所及び長岡署の指導員の皆さま、消防団本部、北部方面隊、OB会、地元町内会の皆さま、そして、最後まで強い気持ちを持ち続けてくれた選手に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

長岡北部方面隊 第15分団 選手紹介

指揮者	高梨之博
1番員	磨田雅治
2番員	佐藤達也
3番員	小熊諒太
補助員	酒井利成

中之島方面隊

信条分団 分団長 吉田 清則

上位を目標に出場した長岡市の競技会でしたが、2位発表の瞬間にうれしさとともに私の脳裏をよぎったのは、「我々は水出し操法について何も知らない、訓練内容は？」など先の見えない不安感でした。

初めの頃は指導員の言葉を待って行動するのが精いっぱいでしたが、苦勞をともにして深めた絆は分団を挙げての操法訓練により、さらに深まったように思います。

県大会には、胸を借りるつもりで臨みました。順位は10位と残念な結果に終わりましたが、競技終了直後の私は達成感と、最後まで弱音を吐かずに頑張ってくれた選手への感謝の気持ちで一杯でした。今後はこの経験を引き継ぎ、いつの日にか我が分団がまた県大会に出場し、必ずや上位に食い込んでくれることを期待します。

最後に、今までご尽力いただきました与板消防署指導員の皆さま並びに応援をいただいた全ての皆さまに感謝申し上げますとともに、長きに渡りご理解ご協力をいただきました選手のご家族の皆さまに感謝申し上げます。

ありがとうございました。



中之島方面隊

信条分団 指揮者 小柳 充

このメンバーで練習を始めたのが昨年の3月頃、まず中之島で行われる選考会のための練習でした。しばらくはメンバーの息が合わず、ぎこちない動きでしたが、練習の甲斐もあり選考会を勝ち抜き、長岡市の競技会に出場することができました。

長岡市の競技会では、メンバー全員が入賞することを目標にして悔いの残らない一本にしようと臨みました。正直、2位という結果には驚きと戸惑いでいっぱいでした。しかし、県大会に出場するからには、目標を高く持ち、最後まで頑張ろうという気持ちで練習を再開しました。

訓練に励んで迎えた県大会当日、本番一本で普段どおりの操法をすることの難しさを実感し、10位という結

果でした。悔しさが残りましたが、長岡市の代表として県大会に出場できたことは誇りに思っています。

最後に、県大会まで導いてくださった信条分団及び中之島方面隊の皆さま、並びに6月から指導いただいた与板消防署の指導員の皆さまに心よりお礼申し上げます。

このメンバーで県大会に出場できて良かったです。

ありがとうございました。



中之島方面隊 信条分団 選手紹介		
指揮者	小柳	充
1番員	安達	直司
2番員	吉田	委史
3番員	安達	誠仁
補助員	佐藤	淳



長岡川西方面隊

第16分団 分団長 樺沢 信一



昨年第16分団は、悲願の県大会初優勝をすることができました。今年は県大会連覇を目標に2月から訓練を開始しました。

今年の選手は、新人が多いため、選手はもちろんのこと、サポートする団員の負担は今まで以上に大きかったと思います。

猛暑、強風の中、結果は4位となりましたが、ここまでよく頑張ってくれた選手、そして選手をサポートしてくれた団員には心から感謝しております。

来年は全国大会があります。今年の結果を教訓にして頑張りたいと思います。

最後に、今までご協力、ご尽力いただいた長岡消防署指導員、川西方面隊、消防OB会、地元町内会、選手のご家族の皆様にご心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

長岡川西方面隊

第16分団 指揮者 鈴木 丈志

私達16分団は、昨年ポンプ車操法の部で優勝しました。

今年は選手を変えて2月から練習を始め、市の大会で優勝、県大会4位という結果となりました。

初めての選手は戸惑い、頑張り過ぎて足のけがもありました。疲れがある中、選手の皆はそれでも頑張り、よくやったと思います。

サポートしていただいた方々のおかげで、ここまで選手は育ったと思っています。ただ、4位という結果には満足はしていません。来年は全国大会がありますが、今年の悔しさを忘れずに来年につなげていきたいと思っています。

最後に、毎日サポートをしていただいた方面隊の皆さま、各分団の皆さま、地元町内会の皆さま、激励に来てくれたOBの皆さま、16分団の皆さま、そして指導をしていただいた消防署員の皆さま、選手のご家族の皆さま全員の叱咤、激励、楽しさ、優しさに心よりお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。



長岡川西方面隊 第16分団 選手紹介

指揮者	鈴木 丈志
1 番員	瀧澤 卓也
2 番員	長谷川 直人
3 番員	山本 仁
4 番員	大川 悟
補助員	大川 淳

秋

の火災予防運動期間の防火広報について

○実施期間 11月9日（月）～11月15日（日）

○実施方法

実施日及び巡回場所等は各分団の実情にあわせて計画し、配置されている消防団車両で実施してください。

なお、実施にあたっては、一時停止するなどして、広報要旨が十分届くよう配慮してください。

○その他

ポスター及び防火垂れ幕を消防団機械器具置場や地区公民館などに掲示してください。



長

岡市消防団協力事業所について

消防団活動や消防団員の確保などに貢献している事業所として、新たに8事業所を長岡市消防団協力事業所に認定し、協力事業所の総数は、49事業所となりました。

新たに認定された事業所は以下のとおりです。

- | | |
|----------------------------------|---------|
| ・株式会社 アオイ | (美沢3丁目) |
| ・船山株式会社 | (稲保4丁目) |
| ・株式会社 白井組 | (神谷) |
| ・有限会社 <small>カクジョウ</small> 鶴城工業所 | (栃尾原町5) |
| ・株式会社 渡辺システム工業 | (天神町) |
| ・有限会社 <small>ショウ</small> 匠電社 | (小国町横沢) |
| ・有限会社 林重機 | (西中野俣) |
| ・株式会社 堀井組 | (飯島) |

※表記は申請順となっています。





フェニックスだより



ポンプ操法競技会



長岡西部方面隊



山古志方面隊

今年は10か所の春季消防演習で活動させていただきました！

広報指導分団「フェニックスレディース」の活動で毎年恒例となっている、春季消防演習での司会進行やプラカード持ち、来賓のご案内、自主防災訓練のお手伝いなどを、今年もさせていただきました。5月10日の三島方面隊から始まり、6月28日越路方面隊まで10か所、ポンプ操法競技会でも活動いたしました。まだまだ至らず、ご迷惑をお掛けすることも多々ありましたが、各方面隊の皆さんや消防本部の方々に丁寧にご指導いただき、楽しく活動できたことを、この場を借りてお礼申し上げます。



長岡川西方面隊



与板方面隊



越路方面隊



栃尾方面隊



長岡北部方面隊



長岡南部方面隊



私たちのメンバーを紹介します♪



須田珠江

入団／発足時から
住まい／川西地区
趣味・特技／特技は無くし物と探し物

「看護師の資格を活かして、地域に貢献が出来ればと考えております。活動も団員みんなもとても楽しく、今後も部長として一人一人の力を生かしていきたいと思っております。」



坂谷こずえ

入団／発足時から
住まい／川西地区
趣味・特技／料理、スノーボード

「東日本大震災が起こり、防災について興味を持ち、災害が頻繁におきるようになって、自分にも何かできないかと思い、長岡市でも女性消防団ができる聞き、やってみようと思いました。救急フェアは好きなので、毎年参加しています。」



吉田みゆき

入団／2013年4月1日
住まい／西部地区
趣味・特技／サウナや温泉。エアロビクスやダンスも！

「何かを始めたいと思っていた時、市政だよりに『女性消防団員募集』の記事が目に入り、その時の皆さんの写真が生き生きとしていて、仲間になりたいと思い入団しました。消防演習の司会や救急フェアの活動で市民の皆さんと触れ合えるのが楽しいです。」

活動スケジュール

- ・ 9月5日(土)
救急フェア @ 大手通り
- ・ 9月5日(土)
消防学校女性消防団員科入校
- ・ 9月12日(土)
女性・若手消防団員及び大学生による意見交換会
- ・ 9月19日(土)
救急フェア @ 与板
- ・ 10月11日(日)
救急フェア @ 栃尾
- ・ 10月17日(土)
新潟県女性消防団員活性化大会
- ・ 10月18日(日)
長岡市総合防災訓練
- ・ 10月中旬～11月中旬
高齢者宅防火訪問
- ・ 1月10日(日)
平成28年度出初式

フェニックス
レディーズへの
活動依頼は方面隊の
担当署等へ



さらに活動の幅を広げるために

長岡市で初めての女性消防団は、4年前に25名の団員でスタート致しました。現在32名の団員で活動しております。

これまで応急手当普及員の資格を取得させて頂き、応急手当普及活動や高齢者世帯への訪問活動にも力を入れて参りました。

また、全国女性消防団活性化大会や近隣の五市一町女性消防団交流会にも多くの団員が参加して、他の先輩消防団の方々からいろんな事を学ぶ事が出来ました。

仕事と家事・子育て・介護をこなしながら活動に参加している団員には頭がさがりますが、これからも大勢の皆様から御指導を頂きながら活動の幅を広げていけたらと願っております。

広報指導分団 分団長 近藤章



女性ならではの役割を確立へ

早いもので「広報指導分団」が結成されて10月1日で丸4年が経ちます。

当時は東日本大震災から半年で、7.13水害、中越大震災、中越沖地震を経験した私達にとって「今、何かしなければ…」と感じていた時期でした。何もわからず飛び込んだ私達でしたが、さまざまな活動に参加し、皆様方からご指導を頂くうちに、ようやく消防団としての自覚も生まれ始めて参りました。

皆様の活動ご活躍を目標とし、お役にたてる分団に成長したいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

副分団長 酒井敦子

